

令和3年7月10日

# futbol y vida



Poco a poco ...  
Poco a poco ...

**選手権予選組み合わせが決定!!**  
**この夏の全てを選手権に賭ける!!**

## 選手権一次トーナメント組み合わせ決定!!

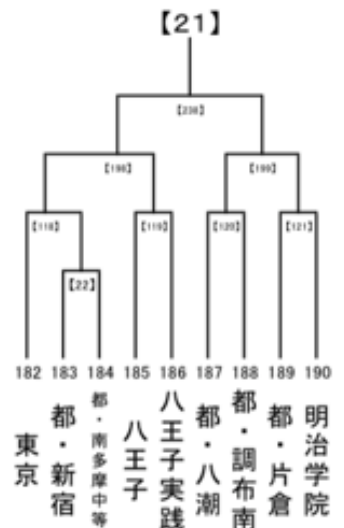
**この夏は、48期生(最上級生)が一枚岩となりチームを引っ張れ!!**

ここ二週間は、梅雨前線の活発な活動の影響で、前日から天気予報と睨めっこの日々が続いています。グラウンド種目の部活にとって、一年間で一番憂鬱な季節です。湿度が高く、コンディションを崩しやすい時なので、お互い体調管理には気をつけたいものです。

## 第100回 全国高校サッカー選手権予選の組み合わせ決定!!

7月4日(日)に、選手権一次トーナメントの組み合わせ抽選会が行われました。この一次トーナメントでは、T1とT2所属チーム、先のインターハイ二次トーナメント進出校は予選免除となります。残りの参加校**277**チームを**30**ブロックに分け、各ブロックを勝ち上がったチームが10月からの二次トーナメントに進出します。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で、**無観客試合、組み合わせ抽選会の結果をSNS等に上げない、大会前までの二週間の健康管理チェック**を行うなどの条件があります。もちろん、他競技でも同様です。高体連が運営する大会なので、大会実施を可能にするために、高体連サッカー部の運営委員の方を始め多くの先生方のご尽力(何度も何度も夜遅くまで会議をしていました)で、今年度のガイドラインを新たに作成し、選手権予選実施を目指しています。本当に、頭が下がる思いです。**感謝、感謝、感謝**の気持ちでいっぱいです!!



<選手権組み合わせ表>

ご存知の通り、先週末から、新型コロナ感染者数の急激な増加により、12日には四回目の緊急事態宣言が発令されます。今後の感染者数の増加やワクチン接種の問題など、懸念材料は山積みですが、三年生にとってはこれが高体連の最後の公式戦の選手権予選となります(もちろんリーグ戦も並行して行います)。今は、選手権が無事に実施できることを祈るばかりです。

そして、**48期生**にとって最後の夏、最後の高校サッカー選手権予選の組み合わせも決まりました(**21ブロック**です)。組み合わせ表を見ると、初戦から格上相手の厳しい闘いが待ち受けていますしかし、今大会で結果を出すためには、この選手権一次トーナメント突破に向けて、**TR&TRM**に日々邁進するだけです!!

さて、今年度で高校サッカー選手権大会は、**100回目**を迎えるメモリアル大会となります。記念すべき大会で結果を導き出すためには、厳しい夏の**TR&TRM**を乗り越えなければなりません。この高い壁を乗り越えるためには、只今急成長中の最上級生(48期生)が**一枚岩**となり、この夏、常に先頭に立ってチームを纏め、公式戦まで引っ張って行って欲しいものです。

片倉高校の初戦 **VS 明治学院**は、**8月26日(土)**キックオフです。

## 選手権予選突破&地区リーグ一部復帰に向け再始動!!

選手権の組み合わせも決まり、チームは期末考査最終日からトレーニングを再開しました。まずは、試験期間中に落ちた体力を取り戻し、選手権&リーグ戦が実施される蒸し暑い夏に体を少しずつ慣らし順応できるようにしていくことが必要です。もちろん、高校生なので自分でコンディションをコントロール（自己管理）できるようになれることが理想ではありますが、私を始めスタッフの方からも熱中症対策として、夏場は特にこまめに水分補給をすることやトイレに行った際には尿の色を確認することなどの注意喚起を促しています。今では、子どもたち同士トレーニングの切り替えのところで声を掛け合って水分補給をすることを意識的に行えるようになりました。また、来週予定されている「味の素の栄養講習会」でも、日本の夏を乗り切るため水分補給やどのような食事を摂ったらいいいのかについてもレクチャーしていただけるようお願いしているところです。



<昨年度のチャンピオン山梨学院!!いよいよ選手権がスタートする>

## 公立、私立は関係ない!!本気さと強い信念が念願を成就させる!!

片倉高校サッカー部は公立高校であります、日々のTRを積み重ねて“K's football style”を築いて、本気で私立の強豪校と呼ばれるチームに公式戦で勝とうと精進しています。つまり「片倉が高校サッカーを変えてやる。」と言っているわけですから、周りが笑ったり、全部反対されたり、皆ができるわけないと思ったり、クレームを受けたり…。そして、常識的にはハード面や選手面、金銭的な面を考えても不利かもしれません。でも、私たちスタッフは本気で、信じて現場で指導しています。本気でやろうと思いつけて行動すれば事は成るものです。そして、やはり本気で取り組むためには、あれもこれもとっては何も手に入れることはできません。強い信念と情熱を持って目標に挑むためにはそれ以外のことを我慢しなければならないのです。

私立の強豪校に勝つのは困難も伴いますが、だからこそ挑戦する価値があります。信念を持って挑戦し続ければ、世の中の常識「私立の強豪校に公立は勝てない（これは言い訳）」が変わっていくものです。全国に出場した駒場高校や久留米高校、三鷹高校も最初から都立の星であったわけではありません。常に挑戦し続けることで全国への道を切り拓いていったのです。片倉高校サッカー部も「八王子の星から都立の星へ」これからの未来を切り拓くために積極的に一歩踏み出す挑戦をしていきます。



<前任校の卒業生が貴重なアドバイスをくれる>

そんな中、先日も前任校の卒業生が片倉高校を訪ねてきました。サッカー部の練習に入って一緒にプレーをし、時折アドバイスをくれるなど片倉の子どもたちにとってはいい刺激になったことと思います。現役時代は、優秀な（叱られた?)二人でしたが、学校が変わってもこうして卒業生たちが顔を出してくれるのは嬉しい限りです。

写真の左側の生徒は、この数日後、家族の理解と協力を得て、夢の実現に向けてサッカー選手としてチャレンジをしにドイツに旅立ちました。実は、昨年一度出発しましたが、新型コロナの影響で一時帰国を余儀なくしましたが、諦めることなく再チャレンジです。ドイツでの彼の成功を祈るとともに貴重な財産（成長）をたくさん得ること期待しています。**頑張れ!!**